

新西大寺町商店街 「木曜日」盛り上げたい

県立大(総社市窪木)デザイン学部が、岡山市北区表町の新西大寺町商店街で開催される「木曜日」のPR用の缶バッジとシールを作った。通りの中央に並ぶ出店の一角に自ら出展して無料配布しており、今回の27日が最終日となる。

が、12月9日、今年1月13日に配った。4回目でも最後となる27日は午前9時〜午後5時で、物販はドリップコーヒーやクッキー、ひめのもちなどを扱う予定(なくなり次第終了)。

リーダーの山川千尋さん(21)は「商品はもちろん、買い手と売り手の交流など魅力ある木曜市の周知に貢献できれば」と話している。(三木良一)

県立大生 バッジ、シール製作

無料配布 27日が最終日

を活用。男女の周りに野菜や果物、魚、衣類といった木曜日で扱う商品を配し、「MOKUYOUICHII」と記述している。色違いで各3種類を用意した。

授業の一環で学生8人のグループが、昨年4月から木曜市の活性化策を検討。顧客の年齢層が高いのを知り、若者へのアピールにつながるかと物販に挑戦するのを決めたのに伴い、PR用品も作ることにした。

バッジ、シールとも12月上旬に150個ずつ作製。初回の出展の11月11日には間に合わなかった



県立大生が作った缶バッジとシール